



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和2年7月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和2年7月20日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 人気漫画「^{イニシャル}頭文字D」とコラボしたアニメツーリズムを推進します(資料1)
- 2 「共生社会実現のまち 渋川市」に向けて(資料2)
- 3 中小企業・小規模事業者のための「よろず支援拠点」による出張相談を市役所第二庁舎で実施します(資料3)
- 4 狩猟免許取得費等への補助金を交付します(資料4)

その他資料提供

- ・令和2年度第2回日本のまんなか渋川・市長と語る会を渋川こけし人形会の皆さんと開催します(資料5)
- ・人口減少問題の解消につながる「提案型市民協働事業」の2次募集をします(資料6)
- ・群馬県建設業協会渋川支部による「KAMIKABE(かみかべ)」の組み立て実演と寄贈について(資料7)

○次回開催予定 7月第4回市長定例記者会見
日時：令和2年7月27日(月)午後2時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
7月20日(月)	7:30	夏の県民交通安全運動車両広報	渋川地区 庁議室	市民協働推進課 秘書室
	9:00	庁議		
	13:00	記者会見	記者会見室 庁議室	秘書室 秘書室
	14:30	第22回政策戦略会議		
7月21日(火)				
	14:00	第23回政策戦略会議	庁議室	秘書室
	16:00	第24回政策戦略会議	庁議室	秘書室
7月22日(水)				
7月23日(木)				
7月24日(金)				
7月25日(土)				
	18:00	渋川ボーイズ入団式	伊香保国際カンツリークラブ	スポーツ課
7月26日(日)				
7月27日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	アニメツーリズム推進事業オープニング式典	渋川駅前広場 記者会見室	観光課 秘書室
	14:00	記者会見		
	19:00	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る検討会	渋川ほっとプラザ	介護保険課

資料1

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-22-2396 内線2420
産業観光部観光課 課長 寺島 剛 電話0279-22-2873 内線4880
上下水道局総務経営課 課長 儘田 清 電話0279-22-2504 内線4810

人気漫画「頭文字D」^{イニシャル}とコラボしたアニメツーリズムを推進します

渋川市は、国内外に高い人気を誇る作品「頭文字D」とコラボレーションし、その聖地であることの視覚的なアピールを行い、交流人口・滞在時間・宿泊者の拡大を目的としたアニメツーリズムを推進します。

この取り組みとして、渋川駅前と伊香保温泉街などに「頭文字D」カラーデザインマンホール蓋7枚を設置するほか、マンホールカード「頭文字D ようこそ渋川市へ」の配布を開始します。また、デザインマンホールを活用したデジタルスタンプラリーの実施や渋川駅～伊香保温泉間でラッピングバス運行などを実施します。

なお、アニメツーリズム推進事業オープニング式典を7月27日(月)午後1時から渋川駅前広場で行います。

1 経 緯

市では、多様化する旅行者のニーズに則し、地域特性を活用した観光を提供することを目指し、アニメやマンガのファンが作品の舞台となった土地などを訪れる『アニメツーリズム』の推進に取り組んでいます。

実施にあたっては、昨年7月から『「頭文字D」地域活性プロジェクト』に取り組み、著作権を管理する講談社から使用許諾を受けている(株)JTBと連携することで、質の高いサービスを目指します。

2 目 的

本企画は、渋川伊香保地域がメインの舞台であり、国内外に高い人気を誇る作品「頭文字D」とコラボレーションし、その聖地であることの視覚的なアピールを行い、交流人口・滞在時間・宿泊者の拡大を目的に実施するもので、7月22日(水)から開始される「GoToキャンペーン」に併せて実施し、観光需要の喚起を図ろうとするものです。

3 概 要

(1) デザインマンホール蓋の制作【上下水道局：資料4～6ページ】

- ①デザイン 7種類(表1及び資料4～6ページ参照)
- ②数 量 14枚(1種類ごとに設置用蓋と展示用蓋を各1枚)
- ③設置場所 7カ所(表1及び資料6ページ参照)
案内看板を2基設置(表1中の地区1及び2の近傍)
※7月27日(月)のラッピングバスお披露目に併せて設置予定
- ④展 示 8月3日(月)～14日(金)市役所本庁舎市民ホールで展示用蓋の展示
※他のデザインマンホールと併せて展示
※市民ホールの展示期間終了後は、第二庁舎で展示予定

《表 1：マンホール設置場所》

地 区		設置場所	設置蓋、キャラクター等
渋 川	1	渋川駅前プラザ（しぶさん）前歩道	藤原拓海、ハチロク（AE86）
伊香保	2	ヤセオネ峠（旧有料道路伊香保榛名道路料金所跡）	ハチロク、FD（RX-7）
	3	石段アルウィン公園北駐車場内（P4）	ハチロク、FD（RX-7）、FC（RX-7）、シルエイティ
	4	八千代橋駐車場前歩道（P6）	藤原拓海、藤原文太、藤原とうふ店
	5	石段下広場内	藤原拓海、茂木なつき
	6	石段街伊香保神社下	高橋兄弟（兄：涼介、弟：啓介）
	7	文学の小径トイレ西	佐藤真子、沙雪、シルエイティ

（2）関連する用品の制作【上下水道局：資料7ページ】

- ①手持ち用原寸大デザインマンホール蓋（レプリカ）を7枚制作
- ②デザインマンホールスクリーン幕（背景幕）を1枚制作
- ③記念撮影用パネル（床置）を1枚制作
- ④広報用のぼり旗を1本作製

（3）マンホールカード（第12弾）の配布【上下水道局：資料8ページ】

- ①配布開始日 令和2年8月1日（土）～
- ②配布場所・時間 ア）8月1日（土）、2日（日）：渋川駅前広場 特設会場
午前9時～午後4時
イ）8月3日（月）以降：しぶさん（渋川駅前プラザ）
午前9時～午後7時（年中無休）
- ③配布枚数 4,000枚（2ロット）※原則1人1枚

（4）デジタルスタンプラリーの実施【観光課】

- ①実施期間 令和2年8月1日（土）～令和3年7月31日（土）
- ②内 容 スマートフォンに専用のアプリをダウンロードしていただき、上記マンホール設置箇所（全7カ所）をチェックポイントとして巡ってもらうスタンプラリーです
- ③完了特典 「頭文字D」コラボ記念オリジナルクリアファイルをプレゼント
※1人一回限り、先着1,000人
- ④配布場所 伊香保ロープウェイ不如帰駅 観光案内所
午前9時～午後6時（年中無休）

（5）ラッピングバスの運行【観光課：資料9ページ】

- ①仕 様 車体側面と後面に表示（資料9ページ参照）
- ②運行期間 令和2年7月27日（月）から
- ③運行計画 表2のとおり

《表2：ラッピングバス運行計画》

運行会社	関越交通(株)	(株)群馬バス
運行路線	渋川駅～伊香保温泉線	渋川駅～水沢経由伊香保線
運行本数 ※1、※2	平日 伊香保温泉行き：1日6本 渋川駅行き：1日6本 土・日曜日、祝日 伊香保温泉行き：1日7本 渋川駅行き：1日7本	平日、土・日曜日、祝日 伊香保案内所行き：1日3本 渋川駅行き：1日4本
料金(大人)	始発から終点まで：580円	始発から終点まで：620円

※1 車両点検等の事情により一般車になる場合があります

※2 時期によって運行本数が変動する場合があります

(6)「頭文字D」コラボ記念オリジナルポストカードプレゼント企画【観光課】

- ①開催期間 8月1日(土)～(デジタルスタンプラリー開催期間中)
- ②対象SNS twitter、Instagram、facebook
- ③内 容 対象SNSでラッピングバス又はデザインマンホールの写真を[#頭文字D×SHIBUKAWA]のタグをつけて投稿し、画面を下記配布場所で提示して下さった方にオリジナルポストカードをプレゼント
※1人一回限り、先着1,000人
- ④配布場所 伊香保ロープウェイ不如帰駅 観光案内所
午前9時～午後6時(年中無休)

(7) 頭文字Dオリジナルフレーム切手販売【政策創造課】

- ①販売物品 Vol.1 販売価格3,050円/セット(販売見込み400セット)
Vol.2 販売価格2,750円/セット(販売見込み400セット)
- ②特設会場販売 8月1日(土)、2日(日)：駅前広場 特設会場
午前9時～午後4時
※特設会場でのマンホールカードの配布に合わせて販売
- ③通常販売 8月3日(月)以降：しぶさん(渋川駅前プラザ)で販売
午前9時～午後7時(年中無休)

4 今後の日程について

(1) アニメツーリズム推進事業オープニング式典【観光課】

- ①日 時 令和2年7月27日(月)午後1時～
- ②場 所 渋川駅前広場
- ③内 容 ア) 市長によるデザインマンホール設置
(渋川駅前プラザ(しぶさん)前歩道)
イ) ラッピングバスお披露目

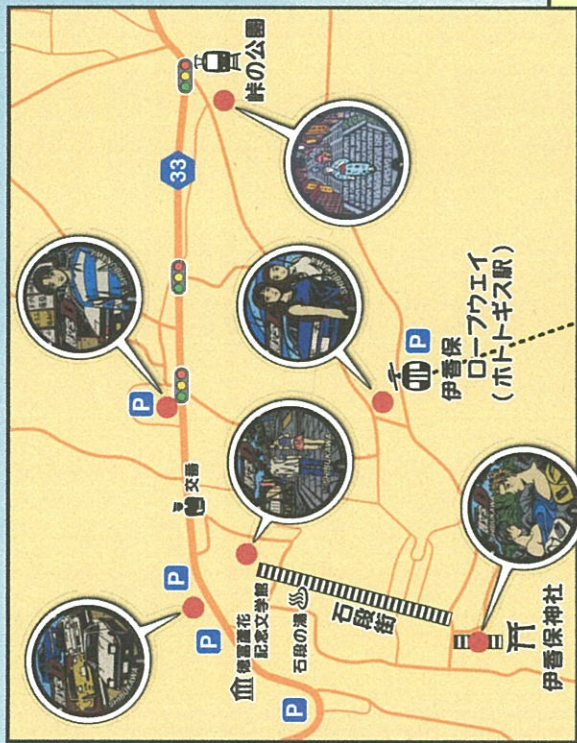
④参加予定者(下記団体の代表者)

- ・渋川市
- ・渋川伊香保温泉観光協会
- ・伊香保温泉旅館協同組合
- ・バス事業者(関越交通、群馬バス)
- ・JR渋川駅
- ・(株)JTB群馬支店



日本のまんなか 水と緑といで湯の街
群馬県 渋川市





渋川市マンホール探検MAP





©S/K・2016IDL3FC



国内外で高い人気を誇る「頭文字D」は、渋川市がその舞台として広く知られ、連載終了後も聖地巡礼と称した多くのファンが訪れています。

このマンホール蓋は、渋川市の「アニメツーリズム推進事業」の一つとして制作したオリジナルマンホール蓋です。

主人公の藤原拓海と愛車のハチロクが渋川駅前プラザをバックをバックに描かれており、渋川市を訪れる皆さまを歓迎しています。伊香保温泉街やヤセオネ峠をはじめ、

005年公開の香港実写映画で撮影に使われた「藤原とうふ店（藤野屋豆腐店）」跡など「頭文字D」の舞台となった各スポットを巡るとともに、市内を散策してみたいかがですか。

©S/K・2016IDL3FC

地域路線バスへのラッピング（2台）

①関越交通

施工前



施工後



①群馬バス

施工前



施工後



担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-22-2396 内線2420

「共生社会実現のまち 渋川市」に向けて

渋川市は、令和元年10月11日に「共生社会ホストタウン」に認定され、これを契機に障害の有無や性別、国籍などに差別されることなく、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現を進めています。

今年度から、認定された10月を「共生社会推進月間」とし、「共生社会推進月間」には集中的に共生社会に関する取組を実施します。

1 「共生社会実現のまち 渋川市」に向けて

(1) 「共生社会推進月間」の取組について

「共生社会」とは、障害がある、ないにかかわらず、女の人でも男の人でも、お年寄りも若い人もすべての人がお互いの人権(私たちが幸福に暮らしていくための権利)や尊厳(その人の人格を尊いものと認めて敬うこと)を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会です。

市では、誰もが暮らしやすい社会(共生社会実現のまち)を目指して、心のバリアフリーの理念の浸透を図るため、「共生社会ホストタウン」に認定された10月を「共生社会推進月間」とします。「共生社会推進月間」では集中的に共生社会に関する取組を実施します。

また、共生社会を実現していくためには、職員が一体となって取り組む必要があることから、シンボルマークを制定し、共通意識のもと取組を強化します。

①期 間 令和2年10月1日(木)～10月31日(土)

②取組内容

- ・シンボルマークピンバッジの着用
- ・心のバリアフリーを啓発するパンフレットの配布
- ・障害者平等研修の実施
- ・パラスポーツの体験教室
- ・バリアフリー情報発信イベントの実施
- ・災害時多言語支援センター設置訓練の実施

(2) オリパラ基本方針推進調査の実施

東京2020大会後を契機に「ユニバーサルデザインのまちづくり」や「心のバリアフリー」を加速させ、2020年を越えた末永い取組の礎とするため、内閣官房オリパラ事務局から調査対象に選定された事業を実施します。

①障害平等研修（D E T研修）の開催

障害者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修を実施。社会のなかにある様々な「障害」を見抜く力を獲得し、それらを解決していくための行動形成に繋がります。

開催回数は計6回。参加対象は市職員、市内事業所、観光従事者、商工会・商店事業者、市民等。

②バリアフリー情報発信イベントの開催

観光施設、公共施設、まち歩きエリアについて、バリアフリーの状況を調査するフィールドワークを開催します。バリアフリー情報を投稿してつくるバリアフリーマップアプリ「WheelLog!（ウィーログ）」の情報を強化し、「車いすでもあきらめない世界」を全国に広め、本市におけるバリアフリー情報強化、共生社会実現に向けた機運をさらに加速させます。

開催回数は2回。参加対象は市職員、観光従事者、市民、学生等。

③取組情報の発信

地域コミュニティ誌『月刊Deli-J』とタイアップし、共生社会実現に向けた市の取組、啓発を、市内だけではなく県域に向けて発信し、共生社会実現に向けたこの活動を県域に広めることで誰もが暮らしやすい地域作りを目指します。

掲載回数は7回。（発行部数：430,000部／配布エリア：群馬県全域）

2 渋川市の「共生社会」の取組

（1）2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

東京2020大会に向けて、市は、令和元年10月11日、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部から、ニュージーランドとの「共生社会ホストタウン」に認定されました。これを契機に、障害の有無や性別、国籍などに差別されることなく、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現を加速させています。

（2）これまでの取組

①ユニバーサルデザインのまちづくり

ア 市地域共生型地域包括ケアシステム推進本部の設置と推進方針を策定しています。

イ 市町村乗合バスの車両更新時にノンステップバスやリフト付きバスを導入しています。

ウ 災害の発生時に、避難所での生活に支障がある高齢者や障害のある人などを伊香保の宿泊施設で受け入れる協定を締結しています。

エ 成年後見制度の利用を促進する条例を全国2番目に制定し計画策定を推進しています。

オ 公共施設のバリアフリー化を進めています。

②心のバリアフリー

ア 市手話言語条例を策定し、各方面・世代向けの手話教室を開催しています。

イ ボッチャの体験会や、車いす利用者が参加できる「貯筋体操教室」を開催しています。

(3) 予定されている今後の取組

①ユニバーサルデザインのまちづくり

- ア 補助犬用のトイレの整備を進めます。
- イ 公共交通機関及び公共施設のバリアフリー化を進めます。
- ウ 共生社会意識付けのための研修や講習会を開催します。
- エ しぶかわ情報マップを活用し、バリアフリー施設マップを公開します。

②心のバリアフリー

- ア 全日本ろうあ連盟発祥の地である伊香保温泉の旅館従業者などに手話講習会を行います。
- イ 車いすを使用する人と一緒に健康づくりを行う取組を継続して行います。
- ウ パラスポーツ体験教室や講演会など、障害のある人とない人が交流する機会を作ります。

3 共生社会を推進するシンボルマーク制定に係る職員アンケートの実施について

(1) 概 要

10月の「共生社会推進月間」開始に先立って、市職員が一体となって取り組むためのシンボルマークを制定します。

このシンボルマークの選定にあたり、職員を対象としたアンケートを実施します。選定されたデザインをもとに、ピンバッジを制作し、職員が身につけることで、意識の醸成を図ります。

(2) 内 容

デザイン3案から、ふさわしいと思われるものを1案選びます。

(3) アンケート実施方法

庁内イントラネット「デスクネッツネオ」のアンケート機能にて実施

(4) アンケート対象者

全職員のうち、デスクネッツネオのアカウントを付与されている職員（再任用、嘱託、臨時職員も含む）

(5) 期 間 令和2年7月20日(月)から7月27日(月)

(6) デザインの決定について

アンケートの結果をもとに、最終的には市長が決定します。また、選考の結果、デザインの一部を修正する場合があります。

資料3

担当：産業観光部商工振興課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2596 内線4890

中小企業・小規模事業者のための「よろず支援拠点」による出張相談を市役所第二庁舎で実施します

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業・小規模事業者向け経営相談体制強化事業として、「よろず支援拠点」による中小企業診断士や税理士等専門家の出張相談を、毎週木曜日に市役所第二庁舎で実施することになりました。事業開始日は7月30日(木)から。電話による無料相談を行います。

1 趣 旨

「よろず支援拠点」は、国（中小企業庁）が各都道府県に設置している、中小企業・小規模事業者のための無料経営相談所で、県内では、前橋市亀里町に設置されています。

この度、国の新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業・小規模事業者向け経営相談体制強化事業として、よろず支援拠点から中小企業診断士や税理士等の専門家を市町村に派遣し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者を対象に、出張相談を実施する事業が開始されます。この事業を利用して、市では、専門家による出張相談を毎週木曜日に市役所第二庁舎で実施することとなりました。

今後は、中小企業・小規模事業者に対して出張相談の周知を広報しぶかわ、市ホームページ等で行い、国の新型コロナウイルス感染症関連の各種制度を中心に、きめ細かな相談を受けていきます。

2 出張相談の実施概要

- (1) 開設日時 毎週木曜日の午前8時30分～午後5時15分
※令和2年7月30日(木)から開始します。
- (2) 開設場所 市役所第二庁舎1階消費生活センター会議室
- (3) 相談内容 国の新型コロナウイルス感染症関連各種制度（例：雇用調整助成金、持続化給付金、家賃支援給付金等）の相談についてなど
- (4) 相談方法 電話で行います
- (5) 相談料 無料
- (6) 問合せ先 渋川市産業観光部商工振興課新型コロナウイルス対策中小事業者経営支援室（電話0279-22-2596）
- (7) 実施主体 群馬県よろず支援拠点

資料4

担当：産業観光部農林課 飯塚 裕 電話0279-22-2593 内線4971

狩猟免許取得費等への補助金を交付します

市内における狩猟免許所持者や渋川市有害鳥獣捕獲隊員の確保を図るため、令和2年度の新規事業として、狩猟免許の取得や銃の所持許可の取得、猟友会への加入に要する経費に対し補助金を交付しています。

1 目 的

市内における狩猟免許所持者や渋川市有害鳥獣捕獲隊員の確保を図るため、狩猟免許の取得や銃の所持許可の取得、猟友会への加入に要する経費に対し補助金を交付するものです。

2 内 容

わな猟免許取得費用の補助、銃猟免許取得費用及び猟銃所持許可の取得への補助、渋川市を区域とする猟友会加入への補助

3 事業概要

(1) わな猟免許取得費用の補助

市内在住で年度内にわな猟免許を新規に取得した者に対し、わな猟免許試験受験料や医師の診断書代といった、わな免許を取得するまでに要した費用を助成するものです。

補助額は1人につき10,200円を限度とし、10人分を見込んでいます。

※補助額の内訳＝試験受験手数料(5,200円)＋医師の診断書代(約5,000円)

(2) 銃猟免許及び銃所持許可取得費用の補助

市内在住で年度内に銃猟免許、猟銃の所持許可を新規で取得した方に対し、銃猟免許試験受験料や医師の診断書代、射撃教習受講料など、銃猟免許取得及び猟銃所持許可を取得するまでに要した費用を助成するものです。

補助金を受けた後、渋川市有害鳥獣捕獲隊に加入し、捕獲活動に従事することが要件となります。

補助額は1人につき80,000円を限度とし、5人分を見込んでいます。

※補助額の内訳＝銃猟免許試験受験手数料(5,200円)

医師の診断書料(約5,000円)

銃猟等講習(初心者講習)受講申込手数料(6,900円)

射撃教習資格認定申請手数料(8,900円)

猟銃用火薬類等譲受許可申請手数料(2,400円)

射撃教習受講及び考査受験費用(12,700円＋34,600円)

猟銃所持許可申請手数料等(10,500円) 計86,200円

(3) 猟友会新規加入費用の補助

市内在住で年度内にわな猟免許又は銃猟免許を取得した方に対し、渋川市を区域とする渋川猟友会又は渋川北部猟友会への加入に要する費用を助成するものです。

補助金受領後、渋川市有害鳥獣捕獲隊に加入し、捕獲業務に従事することが要件となります。

補助額は1人につき20,000円を限度とし、10人分を見込んでいます。

※補助額は、猟友会からの聞き取り及び先行事例（前橋市）の金額を参考に設定

4 その他

県内12市において、上記3種の費用に補助金を交付しているのは、前橋市に次いで2番目となります。

参考

1 渋川森林事務所管内 狩猟者登録数

（前橋市、榛東村、吉岡町を含む）

年 度	H28	H29	H30
総数	496	504	499
網猟	2	2	2
わな猟	141	162	179
第一種猟銃	334	324	302
第二種猟銃	19	16	16

2 渋川市有害鳥獣捕獲隊の隊員数の推移（R2.4.1現在）

年 度	H30	R 1	R 2
総数	107	104	103
うち わな猟免許所持	72	73	79
うち 銃猟免許所持	81	75	67

3 渋川市有害鳥獣捕獲隊の捕獲実績の推移

種 別	H29	H30	R 1
イノシシ	130	208	149
ニホンジカ	193	169	211
ツキノワグマ	7	9	9
ハクビシン	149	190	276
アライグマ	68	106	139
タヌキ	67	157	203
キツネ	10	25	45
合 計	624	864	1,032

資料5

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏仲 電話0279-22-2110 内線2411

令和2年度第2回日本のまんなか渋川・市長と語る会を 渋川こけし人形会の皆さんと開催します

1 概 要

令和元年度から毎月1回、市長と市民との対話方式による会議「日本のまんなか渋川・市長と語る会」を開催し、対話と参加の市政を推進しています。

7月28日(火)に、令和2年度第2回を渋川こけし人形会の皆さんと開催します。

2 開催日程

令和2年7月28日(火)午後1時30分～午後3時(予定)

3 場 所

渋川駅前プラザ2階 こけしギャラリー

4 参 加 者

渋川こけし人形会(5名)

市長、市長戦略部長、産業観光部長、秘書室長

5 テ ー マ

創作こけしの地域ブランド化を目指した今後の取り組みについて

資料6

担当：市民環境部市民協働推進課 課長 生方 茂樹 電話0279-22-2463 内線4314

人口減少問題の解消につながる 「提案型市民協働事業」の2次募集をします

1 概要

「提案型市民協働事業」とは、ボランティアグループや地域づくり団体などが、市が募集するテーマに対し自主的かつ自発的な事業や取組を新たに立ち上げること（スタートアップ）に対して、市が補助金を交付するものです。

なお、募集内容は1次募集と同じです。

2 令和2年度の募集テーマ

市の喫緊の課題である「人口減少問題」に対応するため、次の3つを募集テーマとします。①から③のそれぞれの提案でも、複数を組み合わせた提案でも差し支えありません。

- ①移住・定住対策の強化
- ②子育て支援の充実
- ③地域の連携・活力強化

3 応募できる団体

市内に活動拠点のあるNPO法人、ボランティアグループ、自治会、地域づくり団体など

4 補助対象経費

事業実施にかかるチラシ作成代、会場使用料、備品購入費など

5 補助率・補助金額

補助対象経費の3分の2以内で50万円を上限とします。 ※予算額は150万円です。

6 募集要項の配布場所

市民協働推進課、各行政センター、各公民館にて配布します。また、市ホームページからもダウンロードできます。

7 申込期間 令和2年7月20日(月)～9月11日(金)

8 申込方法 市民協働推進課に持参又は郵送により提出してください。

9 今後のスケジュール

9月下旬に1次審査（書類審査）、10月中旬～下旬に2次審査（プレゼンテーション審査）を行い、実施事業を決定します。

※コロナウィルス感染症の影響により、審査方法が変更となる可能性があります。

10 今年度までの採用実績

- (1) 平成30年度＝応募4件、採用2件、不採用1件、辞退1件
- (2) 令和元年度＝応募3件、採用2件、辞退1件
- (3) 令和2年度＝応募0件（1次募集）

参考

【過去の採用事業内容】

年度	事業名	団体名	事業内容
平成30年度	渋川子ども若者未来創造プロジェクト	渋川子ども若者未来創造プロジェクト 代表者 星野 敬太郎	首都圏との交流人口を増やすため、首都圏で活躍する若者のミュージカル・演劇・音楽等の団体に市内施設を活用した地元参加型のワークショップや舞台公演の場を提供し、住民との交流、地域の活力強化を図る。
	春休み子育てフェスティバル＝つくろう子どもの遊び空間＝ （同時開催事業：世界の子どもの本展2018）	しぶかわ広域子育てネットあしたば 代表者 須田 豊	春休みを利用し、群馬パース大学福祉専門学校にて紙芝居、コンサートなどの活動を行うことで子どもの居心地の良い場所を提供する。 また、国際的な賞を受賞した児童図書も展示する。
令和元年度	信愛えんがわカフェ	信愛えんがわカフェ 代表者 臂 奈津恵	旧信愛幼稚園舎及び園庭を活用し、世代を超えた地域の交流を目指す。 月に1回以上、園舎及び園庭にて無料又は低額料金の茶菓などを提供するカフェを開催し、地域での人間関係を豊かにしていく。
	『みんなの学校』渋川上映・講演会	『みんなの学校』渋川上映実行委員会 代表者 永井 一十三	全ての子どもに居場所がある学校づくりを目指した教育ドキュメント映画『みんなの学校』の上映と、元学校長の木村泰子先生による講演会を開催。

資料7

担当：危機管理室 斉藤 章吉 電話0279-22-2130 内線8210

群馬県建設業協会渋川支部による 「KAMIKABE（かみかべ）」の 組み立て実演と寄贈について

1 内 容

群馬県建設業協会が、災害時の避難所での感染症による「3密」を回避するため、持ち運びができ、組み合わせて使用することも可能な、段ボール製の間仕切りを作成しました。

この間仕切りは、座った大人の頭の位置より高く、飛沫感染を防止することができるサイズとなっています。

群馬県建設業協会渋川支部では、この製品について、下記の日程で組み立て作業を実演します。また、完成後は展示を行い、展示した製品（1基）を市に寄贈していただくことになっています。

2 日 時 令和2年7月28日(火)午後3時30分

3 実施場所 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

4 間仕切りサイズ 2.1m×2.1m×の正方形 高さ1.5m
(30cmきざみでの伸縮が可能)

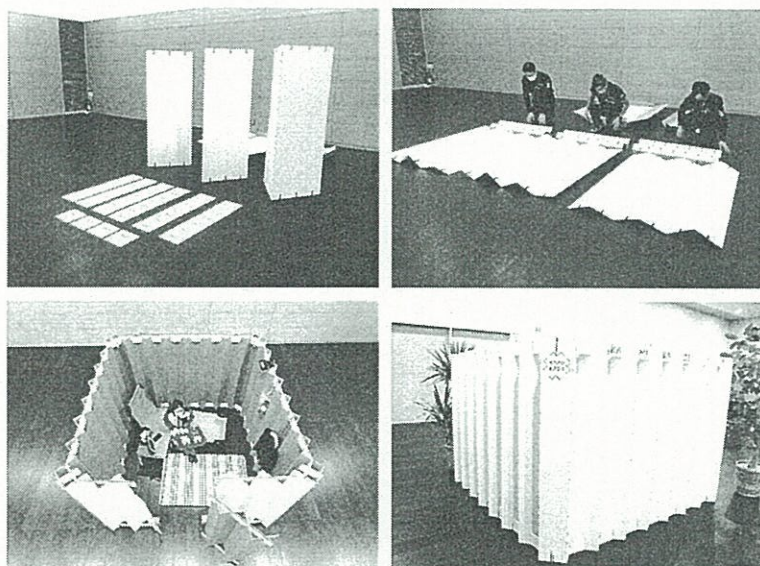
5 その他

完成後は市民ホールにおいて、現在、市が備蓄している「間仕切りテント」等と一緒に展示を行う予定です。

※展示期間：令和2年7月28日(火)から8月26日(水)

地域を守る建設業からの提案

か み か べ
KAMIKABE



複合災害への備え

安心スペース
3密対策
仮住まい生活の質を高める

(一社) 群馬県建設業協会／群馬県建設事業協同組合

協賛：群馬県建設業協会（一社）／群馬県建設事業協同組合（一社）